



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日
東

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所
 コード番号 4393 URL <https://www.boj.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 定時株主総会開催予定日 2020年12月18日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績(2019年10月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	3,061	—	△60	—	△70	—	△74	—
2019年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期 △74百万円(—%) 2019年9月期 —百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	△19.34	—	△5.9	△2.2	△2.0
2019年9月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 —百万円 2019年9月期 —百万円

(注) 2020年9月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	3,183	1,256	39.5	327.97
2019年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年9月期 1,256百万円 2019年9月期 —百万円

(注) 2020年9月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値については記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	△246	△12	344	2,221
2019年9月期	—	—	—	—

(注) 2020年9月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

2021年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社（社名）株式会社バンク・オブ・イ、除外 —社（社名）—
ンキュベーション

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	3,951,000株	2019年9月期	3,924,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期	118,674株	2019年9月期	58,635株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	3,856,773株	2019年9月期	3,890,722株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	3,061	△28.7	9	△98.2	10	△98.0	6	△98.3
2019年9月期	4,295	△15.0	526	△0.2	515	1.2	373	2.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年9月期	1.63		1.63					
2019年9月期	96.10		95.37					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年9月期	3,260		1,337		41.0	349.07		
2019年9月期	3,149		1,404		44.6	363.25		

(参考) 自己資本 2020年9月期 1,337百万円 2019年9月期 1,404百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載していません。なお、当該理由等につきましては、P. 3「1. (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼし、依然として厳しい状況にあります。また、「新しい生活様式」のもとで感染拡大の防止策を講じつつ、各所で社会経済活動のレベルの引き上げがなされております。また、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されてはおりますが、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響には注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2019年の国内ゲームアプリ市場規模は前年比4.1%増の1兆2,140億円と安定した推移が続いております（参考：株式会社KADOKAWA Game Linkage「ファミ通ゲーム白書2020」）。

このような事業環境のもと、既存の各タイトルの運営維持、新作の開発及び海外展開、並びにスマートフォンゲーム以外の新規サービスの開発に取り組んだことにより、「ミトラスフィア」及び「幻獣契約クリプトラクト（以下、「クリプトラクト」）」の中国本土版のゲーム版号を取得し、新規サービスである「恋庭」の事前登録を開始いたしました。しかしながら、既存タイトルの売上高減少や新作及び「恋庭」の開発費用増加、新型コロナウイルス感染症対策のための在宅勤務体制構築によって、営業損失を計上するに至りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,061,423千円、営業損失60,232千円、経常損失70,305千円、親会社株主に帰属する当期純損失に関しては74,581千円となりました。

なお、当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較はしておりません。

また、当連結会計年度より、株式会社バンク・オブ・イノベーションが連結子会社になったことに伴い、報告セグメントを「スマートフォンゲーム事業」から「スマートフォンアプリ関連事業」へ変更しておりますが、単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は3,183,586千円となりました。この主な内訳は、現金及び預金2,483,665千円、売掛金367,898千円、繰延税金資産90,290千円及び敷金及び保証金74,275千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,926,703千円となりました。この主な内訳は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）1,528,919千円、未払金161,982千円、前受金187,342千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,256,883千円となりました。この内訳は、資本金490,943千円、資本剰余金468,383千円、利益剰余金491,571千円、自己株式194,015千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果使用した資金は246,552千円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純損失の計上70,305千円、売上債権の減少額117,488千円、未払金の減少額90,424千円、法人税等の支払額196,866千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は12,052千円となりました。その要因は、定期預金の預入による支出7,001千円、有形固定資産の取得による支出3,550千円、無形固定資産の取得による支出1,500千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得られた資金は344,156千円となりました。主な要因は、長期借入金の

純増額416,790千円、自己株式の取得による支出94,035千円であります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、既存ゲームアプリの長期運営並びに自社IPの育成を行いつつ、高品質の新規のゲーム及びサービス（以下、「新規アプリ」）の開発・運営等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。また、当社グループの新規アプリは、自社IPかつ自社開発であることから利益率が高く、ヒットによって大きなリターンを得られる可能性がある一方、開発本数を絞ることによるリスクが存在するのも事実であり、また既存アプリの経年による売上高減少も想定しております。

① 既存ゲームアプリの長期運営

当社は、日本国内においてゲームアプリ「クリプトラクト」及び「ミトラスフィア」の2本を提供しており、本書提出日時点においては、それぞれ配信開始から5年8カ月、3年3カ月を経過しております。当社は引き続き、ゲーム内外問わず、ユーザーに長く楽しんでいただける施策の投入等を通して質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

② 新規アプリの開発

当社グループは、新規のゲームアプリ2本とスマートフォン向けサービス2本の開発に取り組んでおりますが、いずれも市場調査を行いながら、より高い品質を目指して開発に注力しており、ゲームアプリについては、1本あたり日本国内月額課金高5億円以上のタイトルとなることを目指して開発を進めております。なお、競争優位性の確保の観点から、配信を目指せるフェーズに進むまでの間の情報開示は差し控えてさせていただきます。

③ ゲームアプリの海外配信

当社が掲げる企業理念のロマン（世界で一番「思い出」をつくるエンターテインメント企業）のもと、開発中のゲームアプリ2本は、世界同時配信かつ自社配信（ただし、中国本土等の一部国・地域は除く。）を前提として開発に取り組んでおります。

また、既存ゲームアプリ2本についても、現地のパブリッシャー企業等（以下、「現地企業」という。）との連携により配信又はそれに向けて準備が進められており、「ミトラスフィア」中国本土版については2020年10月22日より配信を開始しております。

本書提出日時点における各サービスの進捗状況は以下のとおりであります。

【自社配信】

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作RPG①	新作RPG②
日本	配信中	配信中	開発中	開発中
海外（中国本土等の一部国・地域を除く。）	他社配信のため該当なし		開発中	開発中

【他社配信】（※1）

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作RPG①	新作RPG②
中国本土（※2）	配信中	2021/9 上期 配信予定	検討中	検討中
台湾・香港・マカオ（※2）	配信中	配信中	自社配信前提のため該当なし	
英語圏	契約締結済 (配信開始時期未定)	配信終了		
その他海外	配信中	—		

※1 他社配信による海外展開においては、当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、当社はゲームアプリ

開発に必要なデザイン及びソースコード等を現地企業に提供し、現地企業によりローカライズ開発・運営が行われております。

- ※2 当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、売上に対する一定割合の金額を当社のロイヤリティとして受け取ることとなっておりますが、現地企業からの収益報告には一定の期間を要することから、当社では収益発生月より2カ月遅れで収益計上を行うこととしております。

さらに中国本土版に関しては、将来収益となるリリース後に発生するレベニューシェアのうち、一定額がミニマムギャランティとして事前入金される契約となっております。当該ミニマムギャランティの一部について2019年9月期に入金がありましたが、当該入金額は配信開始日以降に収益化するものであるため、当連結会計年度末時点においては流動負債の前受金として計上しております。

④ 新規サービス「恋庭」

株式会社バンク・オブ・イノベーションでは、2019年11月の設立当初より新規事業の立上げを目指して2つのサービスの開発を進めてまいりました。そのうちの1つについて、「恋庭」として「ゲーム×マッチング」サービスを新たに開始することを2020年9月18日に公表すると同時に事前登録を開始いたしました。現在、2020年12月～2021年2月のリリース予定に向けて、開発の最終段階に進んでおります。当社グループは「恋庭」を通して、これからにふさわしい新時代のマッチング体験と、幅広い出会いの機会の提供を目指してまいります。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であり、具体的な予想値は非開示とさせていただきますが、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指してまいります。なお、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示する方針であります。

また、本書提出日時点における新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は軽微であります。今後、当社グループの業績等に重要な影響を及ぼす変化が観測された場合には、適時開示にてお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、当社グループの事業における内部環境及び外部環境を考慮したうえで、適切な対応をとっていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		2,483,665
売掛金		367,898
その他		156,774
流動資産合計		3,008,339
固定資産		
有形固定資産		
建物		10,679
減価償却累計額		△8,205
建物（純額）		2,473
工具、器具及び備品		22,999
減価償却累計額		△16,594
工具、器具及び備品（純額）		6,404
有形固定資産合計		8,878
無形固定資産		
ソフトウェア		1,802
無形固定資産合計		1,802
投資その他の資産		
繰延税金資産		90,290
敷金及び保証金		74,275
投資その他の資産合計		164,565
固定資産合計		175,247
資産合計		3,183,586

(単位：千円)

当連結会計年度
(2020年9月30日)

負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	528,372
未払金	161,982
前受金	187,342
その他	48,459
流動負債合計	926,156
固定負債	
長期借入金	1,000,547
固定負債合計	1,000,547
負債合計	1,926,703
純資産の部	
株主資本	
資本金	490,943
資本剰余金	468,383
利益剰余金	491,571
自己株式	△194,015
株主資本合計	1,256,883
純資産合計	1,256,883
負債純資産合計	3,183,586

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,061,423
売上原価	2,497,994
売上総利益	563,428
販売費及び一般管理費	623,660
営業損失(△)	△60,232
営業外収益	
受取利息	50
助成金収入	4,831
その他	354
営業外収益合計	5,235
営業外費用	
支払利息	8,299
支払手数料	7,009
営業外費用合計	15,308
経常損失(△)	△70,305
税金等調整前当期純損失(△)	△70,305
法人税、住民税及び事業税	380
法人税等調整額	3,895
法人税等合計	4,275
当期純損失(△)	△74,581
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△74,581

連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
当期純損失(△)	△74,581
包括利益	△74,581
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△74,581

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	480,242	457,682	566,153	△99,980	1,404,097	1,404,097
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）	10,701	10,701			21,402	21,402
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△74,581		△74,581	△74,581
自己株式の取得				△94,035	△94,035	△94,035
当期変動額合計	10,701	10,701	△74,581	△94,035	△147,214	△147,214
当期末残高	490,943	468,383	491,571	△194,015	1,256,883	1,256,883

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失 (△)	△70,305
減価償却費	8,661
受取利息	△50
助成金収入	△4,831
支払利息	8,299
売上債権の増減額 (△は増加)	117,488
未払金の増減額 (△は減少)	△90,424
前受金の増減額 (△は減少)	9,430
その他	△24,445
小計	△46,175
利息の受取額	50
利息の支払額	△8,391
法人税等の支払額	△196,866
助成金の受取額	4,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	△246,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,001
有形固定資産の取得による支出	△3,550
無形固定資産の取得による支出	△1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	450,000
短期借入金の返済による支出	△450,000
長期借入れによる収入	950,000
長期借入金の返済による支出	△533,210
自己株式の取得による支出	△94,035
ストックオプションの行使による収入	21,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,553
現金及び現金同等物の期首残高	2,135,907
現金及び現金同等物の期末残高	2,221,460

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社バンク・オブ・インキュベーション

当連結会計年度において、株式会社バンク・オブ・インキュベーションを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法によります。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 2～3年

工具、器具及び備品 5年

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(2) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3カ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(3) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(追加情報)

会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症については、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、「新しい生活様式」のもと、社会経済の活動レベルの引き上げが行われてまいりましたが、収束の兆しは一向に見えておりません。当社グループでは2021年9月期にかけて感染拡大の収束及び経済状況の本格的な回復がなされるという仮定に基づき、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、影響の長期化によって上述の仮定が見込まれなくなった場合には、将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来より「スマートフォンゲーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、株式会社バンク・オブ・イノベーションが連結子会社になったことに伴い、「スマートフォンアプリ関連事業」の単一セグメントに変更しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	327.97円
1株当たり当期純損失(△)	△19.34円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)	
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△74,581
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△74,581
普通株式の期中平均株式数(株)	3,856,773
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。